

第3回 モンゴル レジリエンス研究会

趣旨：モンゴルと名古屋大学がこれまで共同で実施してきた様々な研究実績に関する情報交換を行い、レジリエンスとサステナビリティを重視する視点からモンゴルの環境・災害・社会を考えます。

名古屋大学とモンゴル国立大学は、2015年度にレジリエンス共同研究センターを開設するための準備を進めています。

日時：2015年2月19日(木) 13:00~17:00

場所：名古屋大学 環境総合館3階 講義室3

プログラム：

- 13:00~13:10 趣旨説明 (減災連携研究センター教授鈴木康弘)
- 13:10~13:45 モンゴルにおける気象災害研究 (環境学研究科教授篠田雅人)
- 13:45~14:20 モンゴルにおける活断層研究 (鈴木康弘)
- 14:20~14:55 フィールドリサーチセンターの取り組み (博物館長大路樹生)
- 15:10~15:45 モンゴル社会の変化に関する文化人類学研究 (放送大学教授稲村哲也・環境学研究科石井祥子)
- 15:45~16:20 ゲル地区再開発計画の進捗と課題 (モンゴル国立大学国際関係行政学部長バートルガ スヘー)
- 16:20~17:00 討論 -今後のレジリエンス共同研究について-